

病院長名	北川 喜己
所在地	〒454-8502 愛知県名古屋市中川区松年町4丁目66番地
交通案内	市バス：名古屋駅 名駅バスターミナル 4番または21番 幹名駅2 東海橋・野間駅 行き 玉船町3丁目 下車 名鉄神宮前駅 3番 幹神宮2 権野・中川車庫前 行き 昭和橋 下車 地下鉄：六番町3番出口 市バス幹神宮2 権野・中川車庫前 行き 昭和橋 下車

□ 病院の特徴

当院救命救急センターは、名古屋市内西部の救急医療の中核を担っています。重症度・診療科を問わず、あらゆる患者の初期診療を担うER型救急で、各専門診療科との連携のもと、豊富な症例を経験できます。ハイブリッドERシステムを活用し、ECPRを要する症例や重症外傷も多く受け入れています。

災害拠点病院としての役割も重要で、DMAT派遣の経験を積み重ねています。新たにラピッドカー・ドクターカーの運用が開始され、プレホスピタルにも貢献します。

□ 研修プログラムの特徴

【研修プログラム名】

名古屋救済会病院救急科専門研修プログラム

【プログラム理念】

誰からも必要とされる救急医を育てる

【研修目標】救急科専門医の使命である、以下の能力を習得する

- 救急外来診療(地域の救急医療の中核を担う)
- 外傷診療(特に多臓器にわたる多発外傷)
- 災害医療
- 適切な専門診療科へのコンサルテーション
- スタッフ・コメディカルとの情報共有と教育
- 初期研修医教育

【研修期間】3年

【研修スケジュール】救急外来を主としながら、病棟・ICU管理も研修します。各専攻医の希望に沿いながら、関連診療科や連携施設をローテートします。



□ 連携施設・関連施設

中京病院、岡崎市民病院、大垣市民病院、産業医科大学、名古屋大学医学部附属病院、大阪府済生会千里病院、あいち小児保健医療総合センター、洛和会丸太町病院、藤田医科大学病院、東京ベイ・浦安市川医療センター、愛知医科大学、豊橋市民病院、奈良県総合医療センター、済生会横浜市東部病院、海南病院、安城更生病院、豊田厚生病院、横浜救済会病院、西伊豆健育会病院、成田記念病院、一宮西病院、西知多総合病院、広島総合病院、トヨタ記念病院、前橋赤十字病院、新潟県央基幹病院

□ メッセージ

指導医 (プログラム統括責任者 後藤縁)

3年間の専門研修で多くの症例を経験し、それぞれの症例に真剣に向き合うことで、救急科専門医の基盤を築くことができます。外傷・外科研修、IVR、災害医療、集中治療など、様々な得意分野を持った指導医がいますし、連携病院も豊富です。皆さんの希望や進路に沿って、柔軟な研修が可能です。ダブルボードも目指す専攻医も増えています。ハイブリッドERの活用、ドクターカーの運用開始など、新たな挑戦も続いています。救済会育ちの救急医は全国各地で活躍しています。皆さんもぜひその仲間となり、どこに出ても恥ずかしくない救急医になっていただければ嬉しいです。心からお待ちしています。



□ 募集要項

・採用予定人数	6人
・給与/月額	600,000円~680,000円/月額
・当直回数/月	4回~5回/月
・当直料/回	28,000円~30,000円/回
・その他	
・応募連絡先	担当者 臨床研修センター 山守
	電話番号 (052) 652-7711
	Eメール Kouki-kenshu@ekisai.or.jp

